

《小学生の部》

佳作（警察庁交通局長賞）

愛媛県四国中央市立長津小学校

4年 村上 央征

みんなで守ろう自分の命

夏休み、ぼくは初めてのおつかいをしました。何をするのもお姉ちゃんといっしょが多いので、一人で行くのは初めてでした。お母さんにたのまれて、近くのゆうびん局まで八十五円切手を二まい買いにいきました。ゆうびん局は、家から五分ぐらいの所にありますが、交通量が多い国道十一号をわたります。行く時は、とてもきんちょうしたけど、ゆうびん局に着くとお店の人にあいさつができ、切手を買うことができました。一人で買えたことがうれしくて外に出た時に切手を見ていると、風がふいてぼくが買った切手は、道の方に飛んでいってしまいました。そして、走ってきたトラックの荷台に乗ってなくなってしまいました。とろうとしたけどとれませんでした。くやしい気持ちのまま、レシートだけにぎりしめて家に帰りました。しょんぼりしながら、

「母さん切手買えたけど…」

とあったことを伝えました。するとお母さんは、

「レシートを見たら切手を買えたことはわかったよ。ありがとう。それよりも飛んだ切手を道路までとりにいこうとせず、くやしい気持ちをおさえて、自分の命を守って帰ってこれたことがうれしいよ。」

とほめてくれました。

しっばいに終わったおつかいと思ったけど、お母さんの言葉で心がとてもおちつきしました。そして、自分の命を守ること、いつも気をつけている交通安全について、もう一回家族で考えることができました。

おつかいに行く時は、自転車に乗って行きました。三年生になって自転車に乗れるようになってから、ぼくは遊びに行くときも自転車を使っています。歩くより楽だし速いからです。必ずヘルメットをかぶり左側を走ること、横だん歩道を渡るときは、一度自転車からおりておして渡ること、信号をよく見るなど自転車に乗るときのルールは、しっかり守るようにしています。今回のおつかいでも、ルールを守れたから、けがなく家に帰れたと思います。テレビのニュースでよく交通事このニュースを見るけど、ちょっとした不注意で、大けがをしたり、死んでしまうことがあるので、ぼくは車はこわいものだと思っています。でも車がないとふべんです。ぼくのやりたい習い事もできないし、買い物もできな

くなります。だからぼくたち子どもだけではなく、大人もしっかりルールを守ってほしいです。スマホを見ながら運転したり、お酒を飲んで運転するのはやめてほしいです。だれでも大切な家族がいなくなっても悲しいし、自分の命がなくなってもいやです。大人も子どももルールを守って、一つしかない自分の命を守ることが大切だと感じました。

一人一人が安全に気をつけることで大事な命は守れます。はじめてのおつかいから、交通安全について考えることができたので、ぼくはいいけいけんができた夏休みになったと思います。「ってきます。」と家を出たら、「ただいま。」とえがおで帰ることが幸せだねと家族で話しました。二学期からも学校の登下校や友達と遊ぶ時など気をつけたいです。